

青一日

八浦晴 南東風力

三十九度

軍令部長ヨリ左情報得(元山領事ヨリ電報)

要領

二月十日 當地方(元山)沿岸ニ軍艦數隻出入港
 風聞アリ十日朝釜山ヨリ船當地ニ軍艦數
 隻同夜(イ)神旗ヲ探海燈ヲ点スル見ル十五
 日大成丸(イ)端川沖ニ探海燈ニ照サレ追跡セ
 ル全船馬養島ニ於テ韓人ヨリ聞クトヨリ依ル全
 日午後軍艦六隻ヲ寄港セリト廿日明川ニ軍艦五
 隻アリト韓人告テ廿日端川沖ニ於テ号所発光
 信号ヲ本邦船長認メ廿日午軍艦四隻寄港
 前ヲ過キ其官舎午向三時馬養島ニ本邦探偵
 員モ全様報アリテ

艦手常態
香港丸

浦島對行
動

午前、陸地砲撃用として砲門舟を通常補給十発
死に搭載

午後一時十分艦手常態香港丸入港（仁川武庫港）
（帰）

聯隊機密第七四号訓令受領

要旨

敵情、浦島敵時元山附近迄迄七七五、如

目的、第二戦隊常態千早、如、如置吉野、浦

島方面敵撃破若、威嚇、向時、要米

利加湾及赤毛下湾附近出沒陸上、

敵ヲ牽制ス

仍、右訓令、基、乙隊機密第六号命令在、

要旨

0867

八浦
浦砂向

三月二日

當艦隊三月二日午前八時八浦出港直浦塩向

ノトス原速九節

警戒序列

此出動中特令以外各艦常ニ十節ニ對スル汽力ヲ蓄

（置クニ）

三十四度十九分
百廿六度五分

晴和 北風力二

早四度

午前八時出港

午後一時 長竹水道ヲ通過ス

午後五時頃迄三笠下時々通信ヲ送受シタリシモ今時頃太郎

島南方ヲ通過スル時々通信不通トナレリ

午後六時半 月出ツ

三十五度五分
百廿九度九分

晴 北東風力三

早八度

三月二日

三五

0868

對馬海峡
情報

正子豆酸無線電信所ヲ呼ビ應信ヲ得テ左軍機電
報ヲ發信ス

大本營幕僚ニ左ノトヲ傳ヘヨ當隊午正時巨文

島南ニテ九節ヲ行モヤリ青元山領事館電

外浦塩艦隊ニテ情報ナキヤ

右返信明瞭ナク且本艦電信機不具合ナキ以テ吾軍ヲ

ニテ敵島ヲ左テ本隊當海峡通過ノ件ヲ聯合艦隊及大

本營ニ通信依頼シ且新情報ヲ聞カシメ左情報得

三月廿三日浦シヲ出テ廿五日同入港長和蘭商船

ブアルルニテ船長大和士官語トシテ依シテ全船浦

シヲ出ヤガルトビシ岬ヨリナレモ岬ヲ(死傷不明)通過シ

終ヤ水路嚮導ナリシ露國海軍士官退艦セリト

云

0869

北航と英艦
ヒイ
報

午前八時廿分 笠置ヨリテ列島ノ對州近キ浦塩艦

隊情報ノ聞カニ本隊速カ七節半トシテ航進

午前十時方 左舷韓國陸岸近ノ一船ヲ認メ吉野ヲシテ偵

察セシム該船ハ英艦ヒイニ号ナリシ

ト六 艦 速カ六節半トシテ針路ヲ浦塩港外向北上廣東

午前四時六分 九節復ス

午前四時十分 笠置敵隊列ノ其報告依ルニ午前敵

島ヲ通シ得ルモノト音日元山領事ヨリ電報外情報

ナシ又聯合艦隊司令長官ヨリモ該地異状ナシ報知ヲ得

午前四時五分 警戒航行序列ヲ取ラシム

第集會点ヲ天五地(美空)百是度(東)下送

0870

三月四日

午後七時四十五分 日出

午前八時四十分

南東風方千四

四十八度

午前七時三十分

鬱陵島ヲ右舷に横二千里見

午前七時十分

北九度東トス

午前七時廿分

警戒航行序列ヲ元ニ復ス

午前八時ヨリ速カク節トス

午前九時 左信号ヲナシ(參謀長ヨリ艦長ニ)

場合依リ浦塩對ニ飛越射撃ヲ試ムルハ豫定ナシ

キ其要領ヲ通知ス以通知内示第ニ種第ハ六号防

備設計圖ヨリ了解セ度射撃目標ハ甲砲艇

渠附近六甲砲艇第十五第十八砲台着ス DPS 531

能ク砲台ト射撃区域船渠背岸ヨリ高五九

五九点ト東海岸近ト高五九六興ノ山嶺ト通

三六

0871

引キテ 直線ヲ南方ノ界限トシテ海岸ニ記載シ
 アル官立製粉所ノ字トテ貫キ船渠ノ内東方ヨリ
 ノ方ヨリ南方三百米突ク点ニ達ス直線ヲ北方ノ界限
 トシ射撃航路ノ南北ノ界限線上一万米突ク点ヲ結
 ビ付ケタル線ト概テ射撃距離ハ千八百米ニ在テハ船
 渠ノ實際距離五百米突ク六千三百米ニ在テ諸砲台ノ距
 離ニ習米突ク氣温低ク爲加ハタルモノトシ照準
 点ノ南方ノ界限線ニ近キトコロニ全線ト五四四六點
 ノ山巔下ノ水準線ヲ方ノ界限線ニ近キトコロニ全
 線ト三七九五點ノ直下水準線又其中間ニ在テ始
 ト右点中間ニアル山巔ノ直下水準線トス尚船
 渠運動法等追テ合ラレベシ

午後五時

第一集合点ヲ四九九(平度)ナル北百三度ニ在ル

三二

0872

三月五日

（少）

午後一時、速カ七節ト、第一隊ヲテ、総鐘点火セシム

一、第一隊、明朝午前七時迄、総鐘点火セシム又警戒

航行序列ヲトラシメ、四直哨兵ヲ張り警戒セシム

推測、聖慮廿六分、荒天、南東風力一二、聖慮三度、北西風力九、聖慮四度

午前一時、雨少シク降り始

午前七時十五分、警報航行序列ヲ元ニ復ス

昨夜字頃不明、無線電信譜ヲ感ス、今朝、淡間艦長

之ヲ判讀ヲ求メタルニ、其中ニ、其處ニ、ナル魯文字アリト

仍テ各艦、受信機ヲ、鋭敏、調製セシメ、受信ニ注意スル

キヲ命ズ

午前八時、針路ヲ北西トシ、原速カ九節トス、之レハ、明天

台伯都、再大濠灣、今、シカ、為、又、六、右、電信、ヲ、敵、ヨリ

三一

0873

霧連

三隊行
動安會

降雪其
自清在荒

発信不明トモ之ニ出會セシトノ希望ヲ有セシヲ以テ

暫時ニテ霧來

午前時四十分 左信号命令ヲ與フ

今日午後六時ヨリ豫定行動ヲ變更シ位置吉野ヲ本隊ト同

行セシ明日北越射撃ヲ施行セ右三艦港ヨリ監視シ得

ル地点ニ砲台ノ彈着距離以外ニテ敵ノ動靜ヲ監視

シ機宜ノ運動ヲトル

午前十一時三十分 霧益深クナリ終ニ後視艦ヲ見ル能ハ

セシ至依テ霧中信号ヲ莫クシ小標的ヲ流セリ

午後一時 針路北ノ東トス此頃ヨリ北西風漸ク強ク一時

其方雪降リ風力強大トナリ南東ノ北トス既ニテ雪降ル

此時韓地高出嶺ヲ見ル

午後三時 速カク即トス

0874

船内進水
激浪思水
船内進水

三月六日

午前四時

針路北六十度東トス

午前七時十分

晴天トシ但北風甚強且寒氣凛烈

激浪船内ニ入六直ニ氷塊トシ水夜吉野笠置航行頗困

難シ

午前七時七分月出ツ

本夜直晴只以テ警戒ス

四三度四十六分

晴 北西風力六一三

四十四度

午前六時

陸地ヲ左舷ニ認メ全三十五分北西ニ変針

三三度三十分

午前七時十分アスコト島ヲ確認セシラス其西方ニ

向ニ変針ス

午前八時 十分

午前八時三十分 浅瀬測者アリ全艦ノ報告依レバ

0875

浦口東口
向

飛前空放
一発スモヨ庫
カ

水海突進人

砲者三發機内兵曹濱寄慶三郎ニテ寒気ノ為ノア
スエチエクトル外蓋凍着セシテ直サレテ事業中波拂
モニテ終ニ見當ラザリト言フ

午前十時 漸次速カラ増加シ十節トシ浦口東口向
港口方面煤烟揚ラ見ル但近ニ從漸次稍散シ港口東
モ船影ヲ認ム

午前十時廿五分 実弾空射前空放一發スモヨ庫ニ又食
事ヲ早クキテ庫カ

十一時 堅氷前路ヲ遮ルニ念シ其俣直進スノ不利ナルヲ認
ムルニ由リ其甚シカラザル海面ヲ選ビ一時速カラ減シ航進シ

豫定地ニ向

無線電信機ヲ水準線下ニ収ム

午後時十七分

戦闘高署ニ駐ヤ要具ヲ備ヘ凡テ整備

0876

機時進行

其儀開散シ休戦セリノ信号ヲナス

午後時三十分 スクリップレフ 燈台ヲ北七十八度西七度半

見地ヨリ計測 半島砲台ヲハサレキン岬ヲ覆ヒ針路

ヲ北六十度西十度撃テノ前進ス此時港内ガ燈台

附近ニ隻小汽船ヲ認ム(孰モ二橋ニ烟突ニテハ後橋

大形旗掲ケ他ニ烟突台橋接近セリ)

午後時三十分 適宜時機ニ至ラ打音始メノ信号ヲナス

午後時三十分 右方ニ面変換針路ヲ北三十五度東ト

シ今五十三分八秒ニ間接射撃ヲ行ノ敵砲台應戦シ唯

兵員砲台上ニ奔走スルヲ見ルニ一時五十分ニ面此廻転

ニ再北六十度西ノ針路ニ復シ益前進シ陸岸ヲ去ル均四

千米ニ至ルニ時十分右方ニ面変換ヲ行ニ再北三十度

東ノ針路ヲ執リ八分六秒ニ以テ豫定目標ニ對シ間接射

三ナ

0877

撃ヲ行ノ敵砲台之ニ應セズ

午後三時廿分 南東ニ針路変ニ二時七分全射撃

ヲ止

午後三時三十分 スクリップレヲ燈台ヲ西六哩見テ南東
ノ針路ヲ採リ東口ヲ去レリ今時無線電信機ヲ旧位

ニ復セシム

第三小隊零時四十分列ヲ離シ第一第二小隊間接
射撃中敵砲臺ヲ彈着距離以外ニテ港口ヲ
監視セリ二時四十分本隊歸ラレノ後尾單縱陣ヲ
制ラレタ 此戦闘中彈藥消費額存如シ

砲臺別出雲 淡間 八雲 船手 吾妻 計

八吋	二七	一七	一六	三〇	一六	一〇	六
六吋	四八	三九	一七	二六	〇	一三	〇

消息
航路示ス

別戰闘詳報アリ茲大田谷ヲ記載ス

午後四時三十分

信号アリ豫定航路示ス左如シ

午後五時速カヲ七哩減ス午後七時針路ヲ正東ニ變

午後六時針路ヲ北西ニ變ス午前六時第三小隊

アリカ湾第三小隊ストロウカ湾偵察ヲ遂ニ後ニ

午前十時アスコルト島南方十哩來ル

今夜四直哨兵ヲ以テ警意致シ信号ヲトス

午後五時十分

吉野艦手等ヨリ敵艦見テ信号アリ

水艦ヨリ見ルトコロニ依テ烟ヲ明確ニ認メ果シテ敵

艦セヤ分明ナラス但五時ヨリ七時減セントス七時ヨリ以テ

其速度カヲ減セシテ尚十二節ヲ維持スルニ命ジ今六時

左通テ豫定航路ニ變更シテ各艦傳フ

午後七時ヨリ速カラズ前半トシ午後八時針路ヲ東ニ

四〇

0879

夕刻浦邊燈
標海燈光多
標海燈光多

外海及下川
現

曾西亞島
船長水塊

三月七日

變其他統前通り

午後七時過キ浦以方面探海燈光ヲ認ム

四三度五十三分 晴 北西風カ三三三 三十三度
四三度五十分 晴 北西風カ三三一 三十一度

午前六時 豫令如ノ第一第二小隊ヲミテ夫々アメリカ灣

ストリープス灣ヲ偵察セシメ第一小隊海岸沿ヒ西航ス全

十時右三隊モ歸隊ノ歎モ異変ナシノ報告ヲナス

午前十時廿一分速力ヲ十二節増サシム

午前十一時 アスコルド島ヲ過キ針路ヲ北方變シ浦塩東口

向

敵艦出テ来ラス而シテ昨日全位置進ニ砲撃ヲ再ビスルハ危

險ノ慮アリシヲ以テ之ヲ中止シ昨日如ク深ク灣内ニ進セバ午

后零時廿五分至リ針路ヲ転シホント灣向以途中

曾西亞島東南方ニ至リ大ニ方形又長方形水塊処々

漂流人敵艦
航路示人

航路示人

航路示人

航路示人

漂流人雲之衝突艦首発射管に許漏水ヲ来
 セリ但暫時ニテ修理シ終リ、魯西亞島附近航行節午
 午後七時五分及全時其方面ニ魯西亞無線電信感
 ズ八代浅間艦長判読依ル前者「南」西ニ敵艦ニ感
 ル魯西亞島附近アリ、後者「敵」島ニ覆ハタリ
 午後三時五十分 信号ニ左ノ豫定航路ヲ示ス
 本島ト湾沖合ヨリ南ニ西ニ針路ヲ執速力十節
 羅津湾取歩明朝城津着午後馬養島着明夜速
 カヲ減明朝元出着ノ予定
 午後四時五分本島ト湾外湾内ヲ廻リ出テ城津向ノ
 湾内敵艦ニ又陸上特別新設防禦工事ヲカケ
 午後七時頃浦塩方面ニ探海燈ノ光ヲ認
 本夜四直哨兵以テ警戒ス

0881

城津偵察

三月八日

四度世坊
百尺度坊

晴 南西風力カニ

四八度
三三度

午前零時三十分日出

午前八時幸坊城津湾迄六百米突開距離ト湾内

入り一週出ツ我領事館上國旗掲揚スル見ル吉野ヨ

残シ今艦士官領事館遣シ使我情勢ヲ通シ后々

馬養島沖ニ本隊合シテ令

午前時湾外出テ常距離ト新浦向

午後時十分 吉野帰隊ス其城津関スル報

告トシテ城津異状ナシ露國軍艦来レルトシ鏡

城昨日露國騎兵七十名来リタル由居浦人民五十名

凡テ無事大本營ニ電報置ケリ

又大本營ヨリ電報二通受取来リ

其一 軍司令部ヨリ司令官宛三月四日附

城津ニ情報
ヲ送リ

0882

廿九日午後九時、釜山ヨリ入港、船長報告、依りて
平府沖合に探海燈光ヲ見シト

其二、(音附)

廿九日浦沙ヲ発シ室蘭ニ来リ、墺國汽船ニテ歸リ、
ル避難日本入室蘭警署長ニ語リテ直話其

要領ヨリ、軍艦四隻ハ廿九日浦沙ヲ発シ廿九日同船
出港、時迄ハ歸リ港内水凡テ海濱ニ浮ク大船

ハ自由ニ出港スルヲ得水旁ニ不明

午後三時 陸岸ヲ離シ、同行小汽船ヲ認メ吉野ヲモテ

偵察セシメ、日本商船、萩浦丸ナリ

午後四時廿分 新浦港外着出雲、ニ視察ノ為、入

港他、港外漂泊港内異状ナシ、五時廿分元出向、全
時、塔鐘点火ヲ取止、更ニ十二海里、速カク對テ、蒸汽

新浦偵察

0883

元山着

三月九日

ヲ保タルム

元山津 晴

北風カ四二
南風カ二一

三十七度

午前時五分

元山着

英艦「エイックス」在泊同艦六午前十時三十分出港長崎
三向ノ陸軍運送船伊江丸在泊我隊ヲ航路安全
ナル報得十時本邦向陸軍交代兵ヲ載セ居リ
當地在勤大木副領事来訪左情報電報等受領
ス

城津ニ得タルモノ、外軍令部長ヨリノ電報左如シ

一、壇國商船ブルマ二月九日浦臼倉室蘭へ入港石

炭積込新嘉坡行リト云モ敵國ノモノ否決密

輸ノ疑アリト

二、七日午世果發某新聞社ノ電ニハ旅順船渠

0884

又遊七ミル職工直話及七旨上海發某新聞社
 入電レタル本月六日當艦隊浦塩砲擊結果等
 三聯合艦隊本月廿八日浦出發旅順向某西次
 行動ヲ開始スル聯合艦隊ヨリ通知
 元山臨時派遣隊長高栗少佐未訪其談ニ依テ元山
 目下大隊駐在當方面敵情関ミテ音音魯國聯
 兵七十鏡城来ルト城津ヨリ報知リ又左隊ハ昨日小
 隊ヲ咸興派遣セリ危地排置感念ヲ有スル故ニ示威ノ
 目的ヲ以テ左隊當方在地位殘シ置キ積ナリ又馬養
 島ニ參謀本部ヨリ官一名派遣セリト其他韓國西
 岸ノ我陸軍情報等アリ
 元山居留地ニ至テ平穩ナリ
 午後三時 出港佐世保ニ向

0885

三月十日

晴

南東風力一

五十六度
四十六度

午前二時十分月出

午前七時十分笠置八時十分吉野九時十分八雲

午後小汽船臨檢セム

笠置報告

臨檢汽船捕鯨船國籍諾威レビニ一號登

簿噸數二二八六昨午九月廿日長崎寄リ日本

遠洋漁業會社為ニ備ハ船長ハボリス

今船三月八日迎日灣ヲ和泉臨檢殘居リ異状

十七

吉野報告

臨檢汽船諾威國籍日本遠洋漁業會社備

船ヲ号疑キコトモ解放セリ

口

0886

佐世保港

一八雲報告

諾威捕鯨船レツキス疑ハレキ点セ

同夜竹敷要港部參謀長ヨリ三月九日午後九時佛國
公使館久松少佐ヨリ旅順水雷艇海洋島及鎮南浦
ニ攻撃ヲ執リト決セリト電報ヲ受ク

三月十日

佐世保 晴 北風カニ

五時

午前零時五分 白嶽望樓ヲ呼ビ佐世保鎮守府
炭水準備ヲ依頼セリ

午前二時五十分月出ク

午前九時 佐世保港外に於テ日本丸舞臺ヲ在テ

函館赴クニ遭テ入港后直炭水補充ス其數量左

如シ

艦名 搭炭量 搭炭時間

0887

荒天為損
傷及修理所
修理

出雲

一〇〇〇噸

一七〇〇噸

吾妻

六五〇

一三三〇

笠置

六〇〇

一六〇〇

吉野

四一九

一一一五

淺間

七三〇

一四〇〇

八雲

七〇〇

一五〇〇

艦手

八九九

二〇〇〇

右石炭搭載、水兵碇泊スルヤ否ヤ直ニ鎮守府ヨリ

各艦配給セラル而シテ積込ハ皆人夫使用徹夜間斷

ナリ搭載、右炭量内第一隊各艦二百噸

第二隊百噸和炭ヲ搭載セム

在港中着手セシ車ニ修理箇所在也

出雲、無線電信トスルコトス、トシテシラフキ等

0888

吾妻、スイギングブーム一本無線電信が、ホイローバ

ツフルプレート等

艦手、無線電信取合、直株コーキング、カットゴム、糸

子トス、ト「主、パイプ」、蒸汽艇ホイロー、小修理等

淡間、子トス、パークラッチ、無線電信取合、砲門等

八雲、清水輸送管等

吉野、砲門、ビス、ロッド、ハツゲンダ

右修理中大部分荒天波濤為ノ損害蒙リタルモ

ノナリ而シテ工廠盡カニ依リ小修理直ニ出来セタル

モ艦手ガワド、タ、ト、修理ハ漸ク出港時間ニ合ヘリ

碇泊中適宜上陸ヲ允シ休養ヲ計ラシム

佐原 晴 北東風カ一 五十四度
四十四度

記事

青十言

0889

海軍基地

三言

佐保

晴北風

午後

午前半時 聯合艦隊司令部 海軍基地 參謀長

午後時 聯合艦隊司令部 左砲台 受

石炭積込次第速 大青島通航 佐置吉野速

三来

右對し左返電ヲ夫今時大本營 報告

十四午前十時 發第 二 集合点 向行 十六日午前着

予定位置 吉野先發 吉野 到着スル 如行動

仍テ 第 一 隊 先發 原 第 一 隊 明 日 午前 時 出 艦

原速カ十節 信号ヲス

午後時 聯合艦隊 參謀長 當隊 參謀長 在

艦報アリ

御豫定通り 行動ス 差支ナシ 但 八 日 浦 吉野

二集各点直行アリシ

午後五時 聯合艦隊司令長官より電命アリ

「石炭積込次第直出港急速當地廻航云々

ニ設置吉野時早来リ復ルニ望ム

午後四時五分 京城高少佐より電命アリ

「在當地獨國偵察隊行「ワゴン」等ニ新聞記者コ

ト「ヒ」完テシ北京ヨリ報知依ル旅順口露國艦隊

ハ本日出艦アリ信用難キ念ヲ為ス

四午同意電文軍令部長ヨリ受ク

三時 晴 北風カ一二五十六夜

午前八時 第一隊先発全時第二隊共ニ第二

集各点(海邑)ニ向當隊原速カ十節但十二運對

不能汽保タム

海邑高

0891

旅艦隊脱走
七艦リト
情報ヲ受ク

港ヨリ出テ磁差修正行リ以同午五時三十分作世保鎮守府
司令官ヨリ左ノ電報ヲ白嶽發シ

「今軍令部長ヨリ左ノ電報アリ今迄得ル情報ヲ綜合スル

旅順口ノ敵艦隊十日攻撃中我艦隊引キ揚ガレ

ニ来リ脱出ヲ試ミタ疑アリ以陣充分ニ警備法ヲ加ヘ

必要ト認ム

志自收及宇久島浮樓附近通過際當隊對信号ヲ傳ヘ

以テ之ヲ讀得ル距離ニ近寄リ其信文皆前電ト通リナリ

午後四時五十分 明朝集合点ヲ九針岩トス

明朝七時迄 総鐘点火セシメ又英炭材方準備ヲナシム

(今航海和炭使用シ以テナリ)

三月十五日

三四度五十分

晴 北東風力二三

五十二度

百三十五度五十分

日光丸露國捕虜ヲ載セ作世保向

この山本道
子午線
武蔵
命

ワイルド會

午後零時廿分 三ノ島傍我水雷艇(七号)一巡航
ヲ認ム而シテ我ニ向ヒ来ガ如ク仍テ暫時半速トシ今艇近ツラ
待ツ間艇ヨリ信号ハ十音午後敵艦隊旅順ヲ脱出セシム
疑アリ本艇牛耳島西アリテ見張從事ス又第一戦隊等
行動ヲ付キ尋テルニ分スト岩ト去レリ
午後零時五十分 八口浦無線電信所ヨリ水雷艇信号
同様通知(但脱出)ヲ得是ヨリ先キ若シ敵ニテ脱出スル
一戦隊ハコノ附近マテ追蹙ト来ルニ理ヨリト認メタル以テ
新情報得シカガノ吾等ヲテ危信セトク八口浦ヨリ以上ノ
返答ヲ得タリ(ヨリ時無艦無線電信故障)一吾等ヲテ之
又同電信所ヨリ笠置吉野所在ヲ尋テタル以テ今日第二
集后息着ノ答ト答信セシム

0893

小青島附近
敵艦見
電信感

三月十六日

午後三時五分 右艦艦首ニ煤煙ヲ認メ浅間ヲシテ
之ヲ偵察セシム其報告ニ依テ陸軍運送船江戶丸ニテ何
等情報有クモ他東都丸ナリ今艦午後一時帰隊セシテ列
後ニ入レシタリ

午後四時五分 明朝集合点ヲ小青島トス

海州邑 晴曇 北風カニ一 四七度

未明小青島南ヲナリ對馬ヨリ敵艦見テ警急信号ヲ感ス

但シ我ガ視界ニ何等異状ヲ認メズモ其情况ヲ審セント欲シ

七時半分運動旗流ヲ掲ケ對馬近寄リテ時對馬ヨリ高

千穂對シ異状ナシ其戰隊来リ電信ヲ感シ以テ今先ノ

電信ハ當隊見誤リナリ又何カ誤謬ヨリ出テモト信

シ對馬近寄リ運動ヲ中止シ第集合点向

午前七時半分 浅間ヲ自待復セシム

0894

海色痛着

聯隊機第二八号(正筆音音(受領)

午前九時三十分 聯合艦隊司令長官、在電令受
名以テ直之ヲ麾下ニ令ス

水罐式消火上至急点火用意、田罐十節對ル
蒸気作り置、埋火命令受ケテヨリ二時間以内ニ発動
ニ得様準備置クベシ

午前十時四十分 當隊第二集合点、候直島炭補

充テス

聯隊機第二八号(正筆音音(受領)

要旨

一、當集合点使泊中毎夜警戒法

二、第三第戰隊及、章龍泊中艦ヲ當第二集合点

交代哨艦トシテトス

三、當港碇泊中艦船保上各艦任意ノ度置テトス

0895

前進根拠地
定軍面
及通信送達
物に注意
を要す

千歳高松
船隊偵察
に注意

三月十七日

本島部隊法令第三六号及び前進根拠地
給及通信送達事務一切は港務部長に委任
し其規程を
加す

海州邑 晴 北東風力十五 甲五度
午前七時 千歳高松常艦旅順偵察終了帰港 其

報告要員「方旅順」

午前七時 旅順要港音ヨリ「當方面異状なし」通報アリ

午前六時五十分 三等ヨリ「防衛網を収メ又各艦便宜荒天

準備号汽機何時ニ使用得ルニ準備ヨリ又「碇泊燈旗

艦に依リ信号アリ

昨夜及本夜引續キ艦手弱者各一名アリ

海州邑 曇 北東風力十一 四三度 甲三度

本島信号健全アリ

三月十八日

東面旅順口
閉塞先ず
施行し敵艦
射撃行動に
関心を令す
散らす

三月十九日
三月二十日

海邑 晴

曇

北西風力二由

北西風力三

午時聯隊機密第百六号命令受領ス

要旨

聯隊司令第百五号第百五号コ下近頃所行セラズ此信
遅滞等不都合必カク注意スベシ

目的、聯合艦隊大部旅順港閉塞ヲ容易ナク

シテ為メ先ツ旅順敵ヲ攻撃威嚇スベシ

任務、各隊本旨午時出発ルルハ南方倭泊明

廿日午前六時出発四島東南方連ニ第百五号艦連

隊旅順港外進ニ全港防備情况等偵察シ天

明日本隊ニ合第百五号艦隊南西方ニ迂路取リ廿二

日午前旅順沖ニ至リ老鐵山麓ヨリ富士八島以テ間接

四九

0897

射撃行日 第三戰隊、港區面より監視及敵情
監視任務服

第三戰隊、東方迂路取り廿日午前時旅順港外

廿日沖来

敵来と聯合艦隊戦策準備と夫戰

閉塞船隊(毛丸、福井丸、弥彦丸、米丸) 第一、第二

三駆逐隊 第九艇隊(鶴、真鶴、卯) 及春日丸出動準備

備を整(来廿日午迄) 大青島東方に艦泊待命

第三戰隊出動準備を整 第一集合点止り警戒待命

スレ

告時

聯合艦隊司令官ヨリ左ノ令アリ

艦載雷艇及部々大艇此地止り台中丸依頼保

管官又艦載水雷艇艦砲積るに備候

旅順口向出

三月廿一日

以上命令依リ午後五時ヨリ第一第二戰隊順序ヲ以テ出港シ荒地串南東方ニ假泊ス

午後九時五分 聯隊命令

明日航行序列ヲ第一第二戰隊ト定ム第三戰隊間隔ニシテ米突ト定ム出港順序ハ航行序列ヨリ

午後七時五分

晴 北西風力四三

四三度 三三度

午後六時出港

午後九時閉

本隊信号命令

淺間常艦午後便宜総鐘点火其他艦午後一時迄総鐘点火セヨ

午後零時閉

左聯隊命令ヲ受ク

午後一時ヨリ敵前於テ無線電信通

信ヲ止

0899

敵前ヨリ異符号ヲ用ルル艦名ヲ呼ブ直ニ異符号ヲ
送ル艦名ヲ呼ビ居ル敵物ヲ受ケ易シ

午後四時ヨリ龍田行動ヲ左通リ突

本隊後方約十哩ヨリテ警戒ニ敵駆逐艦未蒙
會ハ探海燈ヲ点シ偽航路ヲトリ拂脱本隊合スル
各艦艦尾燈光カテ成ク弱スル様注意スル

午後四時左隊隊員合アリ

旅順附近ニ於テ敵敷設地雷ヲ搜索シ之ヲ除去ス
方策ヲ徴ス右艦ヲ取リ纏メ便宜提出スル

午後四時七分 當隊隊員

「早」午後七時ヨリ本隊後尾ノ位置ヲレ艦距離二千
米突

午後四時五十分 聯隊信号員

0900

探海燈ヲ直ニ心得様準備シ置ケ

午後五時 當隊信号屋令

午後五時 西に南に針路ヲ採ル

午後五時 當隊命令

本夜ニ直哨兵ヲ配シ警戒甚ク及今夜烟ヲ出サズ様注

意スル

午後六時三十分 聯隊信号屋令

午前七時迄 総擁点火蒸汽ヲ保テ

午後六時四十分 當隊に東に變針し第一第二三戰

隊及驅逐隊ト別ル續テ回轉ヲハストス

午後九時五分 當隊命令

針路變方ハ三十分延ハス

(ヨシヤ西方ヨリ過干居ハナリ)

0901

旅順港

三月廿日

午前九時五分見ル

自北西三九分

晴 南風力二三

早六時

午前七時五分 針路ヲ西四三南トシ旅順方向向

午前七時五分 早々當隊右側位置ヲトシム

午前七時七分 旅順港口向テ決シ回轉増速原速十二

節トス

午前九時 遇岩ヲ右舷船一点見出ス

午前九時五分 聯合艦隊司令長官ヨリ直ニ港外来

ルノ命アリ

午前九時十分 車信号受令

「第三戰隊附近ニ至リ様子ヲ見テ来レ

時ニ弟ニ戰隊旅順港外ニアリ

午前九時五十分 原速十二節トス

0902

富士島間
接射撃

敵艦隊
台外遊
台下遊

五二

午前十時五分 旅順港内砲声多聞
時第戦隊老鐵少南西中遊弋敵艦覆港沿岸
ニ往來セリ

當隊港區面ニ至リ速カ子湮滅シ港外ヲ遊弋シ港口ヲ
監視ス十時五分頃八島島間接射撃ヲ彈丸港内及港
外ニ落下ス卓ラ一層内方接近セシ龍雷附近ヲ着
的ニ從事セシ續テ當隊ハ半速トス
コ時ヨリ敵艦漸次出港シ「ヒラ」バヤン「アス」ト「ヤ
ナ」ト「ボ」ル「ス」 「ボ」ル「ワ」セ「ス」ト「ボ」リ「ヲ」見「又」後「ヨ」リ「ハ
レ」ス「ビ」ト「ボ」リ「シ」モ「出」港「シ」陸「岸」近「ク」饅「頭」山「ヨ」リ「黄」金「山
ノ」海「岸」ヲ「往」來「シ」ホ「ル」タ「ウ」型「一」隻「ハ」時「々」主「砲」ヲ「當」隊「高」ヶ
發「砲」セ「リ」駆「逐」艦「ハ」後「計」十「三」隻「出」港「シ」本「艦」隊「ヨ」リ「尚」陸
岸「ヨ」リ「テ」運「動」若「ク」漂「泊」セ「リ

0903

水雷艇
高

(西港内トロウイカシツツ非ウイウヤ機雷キ)

午後零時五分

當隊ハ戦闘部置キ其位置ニ休

息セヨト命ジ又十早ヲ非戦列ニ位置セシメ以テ敵ヲ待ツ然

シ尼敵艦隊敵ヲ進撃セザリシヲ以テ閑散休憩ヲ命ジ一時

三十分ニ至リ戦闘部署ヲ去

午後一時五分至リ聯合艦隊司令長官ヨリ信号ヲテ今テヨ

リ原速カテ節午六時ヨリ原速カテ節ノ命及テ受テ當

隊速カテ増シ第一戰隊通跡入り四島ノ南方向

午後二時 聯隊司令

今夜艦尾燈ヲ出サス

午後二時五分

聯隊司令

第三戰隊ト駆逐隊本隊後方廿哩ヲ警戒ヲ命ジ

午後三時五分

聯隊司令

0904

本隊四時〇三五地点等四四地点向二時第五
集合同向速方子節減

午四時 田島南西約十二哩機械水雷一個漂
在ル後見龍田及睦手破壊為ノ刻ヲ離ル

午六時 回航九六六

今時 聯合艦隊司令官ヲ出羽司令官宛テシ

ル電信感ス

駆逐隊白没頃迄田島附近止マシメ三九四地点

ニ直航セシメ天明後第五集合同点来リル

午五時廿分 聯隊信号命令

本務直哨六ヲ配シ警言

午五時三十分

三言廿言

第五集合同点 荒天波高 南東風力三六 四七度
四三度

0905

五集會場着

旅順台閉塞
艦行動命令
午後七時

午前時 針路ヲ北東ノ東ノ東ト原速カテ前第

四集會点向テ六時四十分航路巡威島ニ向テ居リ以

テ左正面ヲ變テ大青島錨地ニ向テ七時廿五分八雲乗組

二等機関兵洪川勘助郎海中ニ落ツ仍テ當隊ノ速ニ

救助為テ列外ニ出テシテ八雲及常艦ニ後續スルヲ待テ

搜索ニ長時間ヲ要スルガ如キ以テ他艦ヲ率テ第五集會

点ニ向テ(此時艦手取隊列シ)

第三戰隊及駆逐隊第五集會点ニ向テ来リ

午前十時 第五集會点ニ投錨常艦八雲繞テ来リ投

錨(潮者八百リ搜索スモ見當ラリシト云フ)

午後時 聯隊機密第二四九号命令受領

目的 旅順台閉塞

0906

部隊及行動 第一戰隊第三戰隊(常磐淺間ヲ)

加)第一第二第三驅逐隊第九艇隊(直鶴、鷗)

加)閉塞艇隊(千代丸、福丸、弥次丸、米丸)

廿四午前六時二十分出發發定

第一戰隊(常磐淺間ヲ及)第四戰隊第五

驅逐隊(第一集信点共リ)即刻出港準備整

待命 第五集信点哨艦ヲ配備ス外第五集

信点西四十哩ノ尚艦ヲ配シ無線電信連絡ヲ取

午後三時分 當隊信号命令

明早前六時十分出港原速力十節

午後五時 聯隊命令

今夜雷防禦網ヲ張及テ四直哨兵ヲ配備シテ警

戒書

0907

天候不良
行勤遅引

霧降
集后点入

千草艦長訓令

三月廿四日

第二集合点ニ行キ石炭搭載及機械手入ヲスル

第五集合点

送突 南東風カホ

四五度

午前六時五分

濃霧ニ付テ行動遅引ス

旅順方面出動艦隊其内第四集合点ニ定泊シ天候下特別運送船ニ故障アリシモノ明旨ヨリ発動ス

ベント通知アリシ

午前九時五十分霧晴シ當艦隊(浅間常磐多良)

第二集合点向午留時五分着到着后乙隊機密

第二四訓令ヲ発ス

要旨

- 一 本艦隊警長及港外哨線警長関スル事
- 二 常三節對スル汽カヲ保テ必要以外ニ至急点火準

4
1

0908

初出隊
出動中艦
艦隊復運
艦隊復運
艦隊復運

初出隊
出動中艦
艦隊復運

備上消火スキコト

三、第五艦隊より出動中艦隊上通信連絡ヲ保持
ル為メ第五集合点ニ一艦及同点ヨリ西四半
地点尚一艦ヲ派出スルコト

三月廿日

海州邑

晴久良

四十五度

午後四時五分

第五隊信号命令

山城丸ヨリ便宜彈藥積込

午後六時三十分

山生司令官ヨリ哨艦ニ報告

明日ヨリ對馬ヲ第五集合点西四半運出シ早

第五集合点出ス

三月廿日

第五集合点

晴久良

四十五度

午前二時

第一艦隊及其他第六隊集合点ヨリ早定

行動ヲ開始セリ

五

0909

午前六時五分對馬八時十分早通信連絡艦^出

午前九時頃幸^第集會点^右葛集會点^左車

ヲ^左國^右其^左國^右早^左早^右理^左理^右言^左言^右對^左對^右馬^左馬^右至^左至^右通^左通^右信^左信^右運^左運^右給^左給^右不^左不^右確^左確^右定^左定^右カ

如^左如^右以^左以^右之^左之^右確^左確^右定^左定^右セ^左セ^右カ^左カ^右為^左為^右山^左山^右生^左生^右可^左可^右宮^左宮^右相^左相^右當^左當^右手^左手^右取^左取^右下

ラ^左ラ^右ト^左ト^右其^左其^右結^左結^右果^左果^右明^左明^右待^左待^右手^左手^右高^左高^右種^左種^右更^左更^右集^左集^右會^左會^右点^左点^右

派^左派^右出^左出^右ト^左ト^右ナ^左ナ^右リ

(示^左示^右テ^左テ^右方^左方^右法^左法^右ヲ^左ヲ^右第^左第^右四^左四^右戰^左戰^右隊^左隊^右ヲ^左ヲ^右友^左友^右友^左友^右通^左通^右信^左信^右艦^左艦^右ヲ^左ヲ^右出^左出^右サ^左サ^右ル^左ル^右但^左但^右要^左要^右

哨^左哨^右艦^左艦^右隊^左隊^右出^左出^右動^左動^右中^左中^右必^左必^右要^左要^右ト^左ト^右送^左送^右込^左込^右サ^左サ^右リ

午前五時^左時^右舟^左舟^右新^左新^右高^左高^右哨^左哨^右区^左区^右ヲ^左ヲ^右港^左港^右

本^左本^右日^左日^右使^左使^右軍^左軍^右各^左各^右艦^左艦^右ヲ^左ヲ^右内^左内^右高^左高^右砲^左砲^右射^左射^右撃^左撃^右ス^左ス^右

濟^左濟^右邑^左邑^右晴^左晴^右和^左和^右ノ^左ノ^右風^左風^右カ^左カ^右一^左一^右度^左度^右

午前六時^左時^右舟^左舟^右高^左高^右種^左種^右第^左第^右集^左集^右會^左會^右点^左点^右通^左通^右信^左信^右運^左運^右給^左給^右艦^左艦^右

青^左青^右甘^左甘^右旨^左旨^右

竹筒

示出

午前時

浪速兵船司令官より、千早受信機不良なる事

如仍高千穂第五集會所、千早、第四集會所、其

位置変更せしむる報告あり

午後時

三笠より電命依り、在行大島、真海州

通航スミット令

軍令部長より電報

其日朝敵艦五隻駆逐艦等、旅順、南西

三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

報

在大同江細谷司令官より通報

要旨、大同江水雷敷設共、日、韓、台、南、北、共、朝

出港海防局云

0911

清國北洋艦隊
東洋艦隊
三、戰時禁制品
密賣取締ヲ
大報告

出動艦隊

三月廿六日

芝罘中佐ヨリ電

要旨 清國北洋艦隊廿五日頃ヨリ出動山東省

北東沿岸ニ於テ戰時禁制品密賣取締ヲ

江都丸ヲ第弐五駆逐隊敷設水雷投下装置ヲ

ナシム各艦ニ便宜内筒砲射撃ヲ

海州邑 晴 夕風 四九級

午前時三十分春日丸及第九第百艦隊引續第

第三戰隊入港

午會時廿五分 聯隊司令依各艦長命令與

水雷及消火ト至急魚火用意トシ四鐘汽鐘

十節對空鐘敷埋火ト他消火ト又滿直艦如從

前汽艇ヲ佐電信局通信用ト旗艦三五出

午會時聯合艦隊司令官ヨリ第弐戰隊ヲ某戰

第三艦隊
敵艦隊脱出
監視
ヲ存シ
ニ

隊共ニ敵艦隊脱出南下ヲ監視シ之ヲ南集會点
ニシテ我主力艦隊ヲ報告スル任務ヲ原セラセリ依テ
艦隊五隻直ニ出港用意原速力ナリ即艦載水
雷艇ヲ残シ置ケル信号倉々ヲナシ乙隊機密ニ二
三号倉々ヲ登ス

命令要旨

敵艦隊脱出南下ヲ監視シ之ヲ南集會点ニシ
我主力艦隊ヲ報告スルヲ第一戦隊三艦ヲ監視
視隊トシ派遣シ九〇地点ト六七地点間ヲ往復警戒
セシム

監視交代ヲ音問トシ四午七七〇地点附近ニ於テ
相交代ス監視隊ハ第四戦隊ヨリ出ス中艦艇ヲ
通シ無線電信固各符号ヲ以テ敵情ヲ急報ス

五七

0913

赤城大島入港
ヨリ入港

敵艦隊時々
瀬海灣内
ハ情報アリ

三月廿九日

海邑

晴

南風力一

五十二度
四十五度

五

又第四戰隊ハ千早加、第五集合同三隻又五八二
 地点、更ハ交代派遣シ以テ中繼任シテリ
 午後六時五分 赤城大島入港
 午後七時六分 艦手吾妻出港
 其栗水野領事ヨリ敵情電報

要旨

其栗電報銀行店員談、日本艦隊ハ攻撃ノ旨
 一週間ハ十回出テ来ス故、マカラハ修理済ノ
 艦船駆逐隊ヲ率ヒ時々瀬海灣内ヲ游セスコトアリ
 ト云々又登州府ヨリ来リシ「ヤシク」急報ヲ露國
 軍艦大小數艘、昨夜ヨリ今朝リケ、廿五日夜ヨリ
 廿六日朝ヨリ「廟島沖」徘徊スルヲ見タリト

0914

勅語ヲ賜ル

三月二十日

午五時 神戸丸閉塞勇士ノ柁ヲ載セ出港在港艦船ハ半旗ノ禮ヲナス

午五時五十分 常艦八雲監視線向出港

聯隊機密第二八号ヲ以テ當分内港口哨線哨艇

警備ヲ第一戰隊ハテントリニテ受持ヲ定メラル

本日勅語ヲ賜ル

再度旅順口ヲ閉塞セントシテ壯舉ヲ聞ク朕益々其

事ニ與カリテ將校下士卒ノ忠烈ヲ嘉ム

海州 晴 南東風カ一四十六度 五十六度

午三時五分中継艦對馬ヨリ艦手ノ電時五分常

艦八雲下交代セリト報ヤリ

午六時五分 當隊信号ノ慮

第一戰隊監視艦交代期ヲ午前六時トシ其地点

0915